

08 日本冒險遊び場づくり協会 JAPAN ADVENTURE PLAYGROUND ASSOCIATION

子どもには「冒險」が必要。だからになれる。
楽しい遊び場をみんなでつくろう!

冒險遊び場は、子どもたちがいきいきと遊べるよう「自分の責任で自由に遊ぶ」というモットーのもと、地域住民が運営する「子どもが主役の遊び場」。土・木・水・火などの自然素材を使い、自由遊び場をつくる。協会は、全国にいるが冒險遊び場づくりの活動を支援。1日プレーパーク体験の講師や、プレーダーの養成などにも取り組む。

設立年／1996年9月 主な活動拠点地／「普天間」(公園付録は全国) ホームページアドレス／<http://japa-n.org/motobu/> 電話番号／03-5430-1060 e-mailアドレス／asociation@japa-n.org 組織構成／有能スタッフ2人、ボランティアスタッフ25人、有能スタッフの平均年齢／約1,200,000円 スタッフ基盤／有(ガラニティア) 基金会員／有 どんなスタッフを必要としていますか？／事務局ボランティア(情報整理など)(右上写真 撮影:鈴木基也)



03 地球デザインスクール EARTH DESIGNING SCHOOL

バイオディーゼル機関車を手づくりし、荒れた里山の再開墾を。144ヘクタールのフィールドでエコ実験。

めざすは「手づくりエコビレッジ」。実際に地域にフィールドを持ち、土地の知恵に学び、実際に耕作も新しい技術も持続可能なバイオスタイルを目指す。有機農業の連続教育室と荒れた里山の再開墾を進めめる「うたら農学校」、バイオディーゼル機関車をつくる「手づくり森林鉄道プロジェクト」も展開。「自然人に優しい能力を備えた新しい地球人」になりうる。設立年／1997年7月28日 主な活動拠点地／「東京都丹波根地区 カームペークリテリス」<http://www.e-ds.jp> 電話番号／0773-28-8011 8012 e-mailアドレス／office@e-ds.jp 組織構成／有能スタッフ2人、ボランティアスタッフ2人(不定期のボランティアスタッフは多數) 有能スタッフの平均年齢／2,000,000円 スタッフ基盤／基金会員／有 どんなスタッフを必要としていますか？／様々な特徴をもったメンバーの力を引き出せるコーディネーター

09 京都子どもセンター KYOTO KIDSOMO CENTRE

無人島1週間チャレンジキャンプ、おやこ狂言会……。
子どもたちにホンマモノの楽しさを。

子どもたちの社会体験や社会参観の機会をひろげ、のびやかで豊かな子どもたちを育てることができる社会体験づくりを目指す。具体的には「わくわく狂言会」「やってみよう狂言ワークショップ」の開催や「個人風呂1週間チャレンジキャンプ」、森林ボランティア入門の「森と遊びわくわくキャンプ」など、チャイルドドリーム放牧・子どもたちによる活動、子どもの育成活動に熱意と責任を持った参加である。年賀・修祓、またはスカウトに関する講師はあります。



04 自然体験活動推進協議会 (CONE) COUNCIL FOR OUTDOOR & NATURE EXPERIENCES

自然体験活動の登録指導者、なんと1万5000人。全般的「自然」系団体が手を結ぶ！

「自然」をキーワードに活動している、現在260余りの団体が、活動の違いや団体の特徴を捉えて連携・協働し、自然体験活動の普及・促進に取り組む。農業の新たなステージでの振興、山間地域の活性化も後援に入れて活動を展開。自然体験活動指導者の育成や、指導者の講習・活動を行ない、現在、約1万5000人の指導者が登録中。

設立年／1993年8月 主な活動拠点地／「京都市」 ホームページアドレス／<http://www.cone-net.jp/joinit/index04.html> 電話番号／075-865-1166 e-mailアドレス／kyoto@cone-net.jp 組織構成／有能スタッフ2人、ボランティアスタッフ123人、有能スタッフの平均年齢／約30歳、スカウト基盤／有(ガラニティア) 基金会員／有 どんなスタッフを必要としていますか？／子供に関する活動、子どもの育成活動に熱意と責任を持った参加である。年賀・修祓、またはスカウトに関する講師はあります。

10 新月の本国際協会 THE WOODS IN NEWMOON INTERNATIONAL SOCIETY

新月のときに伐採された木は腐らず、くるいがなく、長持する。自然のポテンシャルを見直そう。

生産を止めるとともに、生活者、草木者側に視点を置くあらゆる分野の人々が協力して、一緒にやって、「薪の木」の伐採現場を体験し、さらによ長年使われる「新月伐採木」を使った建築や生活道具づくりに関わっていく、「どう協働による未来をつくりの会」。物語でなく、実践を支援しながら「未来」を「現実のもの」として実感できる活動を行っている。



05 足立グリーンプロジェクト ADACHI GREEN PROJECT

足元から地球環境を。キウイフルーツを栽培し、煙の周りの気温も下げてしまおう！

「足元から地球環境を考えよう！」を合言葉に、園芸システム「エコ・プラテラス」では、家庭生ごみを堆肥（年間3.5トン）しながら有機野菜を育てている。また周辺住家の気温を1~3度下げるながら収穫が楽しめるキウイフルーツの栽培を行ななど、50世帯以上のエココミュニティが、日々楽しくみなみが津濃に負担をかけないエコロジカルな生活をしている。

設立年／2000年8月 主な活動拠点地／「東京都足立区」 ホームページアドレス／<http://www.greeproject.jp> 電話番号／03-5353-2001 e-mailアドレス／info@green-project.net 組織構成／有能スタッフ2人、ボランティアスタッフ170人、有能スタッフの平均年齢／約40歳、5,000,000円 スタッフ基盤／有 基金会員／有 どんなスタッフを必要としていますか？／明るく前向きで、プロ意識ももっている人

11 センス・オブ・ワンダー自然学校 SENSE OF WONDER NATURE SCHOOL

センス・オブ・ワンダー、それは神秘さや不思議さに目を見張る感性。自然と人間との共生を継承していく。

自然からの柔軟な柔軟なメッセージを多くの人に伝える園境教育プロジェクトを通じ、生物多様性の保全と、再生可能な循環型社会の実現を目指す。「センス・オブ・ワンダー——神秘さや不思議さに目を見張る感性」をキーワードに、新宿御苑や高尾山、三ツ瀬などの自然豊かなパワースポット、野生動植物の観察やお米づくり、巣箱づくりなどの体験活動を実践中。



06 JEAN／クリーンアップ全国事務局 JAPAN ENVIRONMENTAL ACTION NETWORK

マリンスポーツ関係者、小中学校の子どもたちも参加。水辺をきれいにしたいんです。

南川の二川問題を中心とした環境保全活動、また、国際的な連携の下に市民参加型の調査を行い、改善のための提言を続けるネットワーク団体。フォーラムなどの啓発活動や、環境学習用のテキスト、資料映像の作成や発信もしている。「敷地ごとに見えてわかりやすいですが、狭いだけでは一過性の効果しかないです」。意識啓発こそ大切

設立年／1991年7月 主な活動拠点地／「日本全国の海岸」 ホームページアドレス／<http://www.jean.jp> 電話番号／042-322-0712 e-mailアドレス／cleanup@jpn.org 組織構成／有能スタッフ1人、ボランティアスタッフ1人、有能スタッフの平均年齢／約30歳、スカウト基盤／有 基金会員／有 どんなスタッフを必要としていますか？／環境団体

12 セブンサミッツ持続社会機構 SEVEN SUMMITS ACTIONS FOR SUSTAINABLE SOCIETY

日本の美しさ山、富士山。でも、近づけばゴミ問題。

富士機場のゴミゼロ運動、環境学校で生活にECOを。
小学生から大学生まで対象に、富士山、白神、小笠原、神奈川で環境学校を開催：さらに常に停ってからも深く環境について考えられるよう、宿題や年に1回のリーディングで、生活中にECOを取り入れる。また富士樹海は現在は昨年より15年連続でゴミゼロ作業を実施中。シェルバ基金により、9名の「セルフルーム」の運営がカムズの学校で実施している。



07 グリーンマップジャパン GREENMAP JAPAN

「環境」をものさしに都市の地図づくり。

世界中どこでも共通のアイコンで言葉の壁も越える。

グリーンマップは、その都市の環境にいいもの、悪いものの地図と調査しながら、世界共通の125個のアイコン(英文文字)を使って地図に表示。ニューヨーク発祥の環境マップ、現在、世界230都市、50か国以上の人々の手で作成が進む。日本では景観評定書が発達した1997年のCOIの際に制作された「富士グリーンマップ」を皮切りに広まっています。どんなスタッフを必要としていますか？／コンピュータと英語のできる人